

子どもミーティングの「まちづくりの提言」及び  
市長と中高生の意見交換会の概要

平成29年度  
鹿児島市 市民協働課

## 1. 提言一覧

番号	提言内容
<b>&lt;多世代との対話の場&gt;</b>	
1	<p>今回参加して、対話することで解決できることもあり、みんなの抱える困りごとが少しでも無くなれば、より良い社会になるのではと思いました。</p> <p>高校生だからできることもあると思います。</p> <p>中高生も社会を知る必要があると思う。だから、<u>高校生が、社会で生きている様々な人の話を聴くためのつながれる環境が必要だ</u>と思う。</p>
2	<p>社会人たちとの対話を通して、悩みを打ち明けることで、皆同じように悩みを持っているんだと感じました。</p> <p>少し傷ついても、<u>思っていることを素直に話せる環境やそういった社会になることが必要だ</u>と思います。</p> <p><u>私もこれから大人になるなかで、思ったことは、正直に本音で話していきたい</u>と思います。</p>
3	<p>私は、みんな一緒に合わせるのが当たり前前の社会では、窮屈で自分を見失ってしまう、それは怖いことだと思います。</p> <p>今回の中高生ミーティングのように、<u>自分を表現できる、自分を確かめられる場所がもっとあってもいいのではないかと</u>思います。</p>
4	<p>このイベントを通して、話を聴くことの大切さを知ることができました。話を理解しようとすることで、自分の考えもより良く変わっていきました。</p> <p>社会では問題が起こっても、相手と話をすることが難しいことがあります。</p> <p><u>自分の意見を話せること、相手の意見を聴くことによって生まれた解決策はより社会を変える力を持つと思うので、そういった対話する時間、機会が確保される社会であることを願います。</u></p>
5	<p>私が抱えている不安や困りごとは、生活していて感じる同調圧力です。</p> <p>学校に限らず、例えばアンケートなどを通して、<u>自分が苦しんでいることを間接的に打ち明けられる場や方法がもっと必要だ</u>と思います。</p>

## 1. 提言一覧

番号	提言内容
6	<p>話をすることで変わった。コミュニケーションの基礎を学んだような感じがします。  <u>一緒に話すことで分かち合える。</u>  <u>こんな素晴らしい空間があることに気づくこと、そのうえで生きていける人がいる社会であることを願います。</u>  <u>自分自身もここで学んだコミュニケーションの基礎を大切にしていきたい</u>と思います。</p>
7	<p>今回、他世代の方々と同じテーマで話すことで新たな考えに出会うことができました。また、自分の考えを知ってもらうことで、もっと多くの人と話をしたくなりました。  <u>年齢差関係なく、同じ人という対等な立場で話し合いができたので、より互いが助け合い尊重しあえるような社会、鹿児島になっていけばよい</u>と思う。            何か問題が起きたとき、表面上で話すだけでなく、相手を知り、自分のことを伝える努力をしていきたい。</p>
<h3>&lt;共生できる社会、多様性の尊重&gt;</h3>	
9	<p>社会人たちが普段感じていることに対して、共感できることが意外と多く、そのことで、私たちが何か社会に対してできることがあるのではないかと希望が持てました。  <u>社会の色々な問題の解決のためには、みんなが、相手を信頼して、積極的に自分の意見を相手に伝え、よりよい関係を築いていけることが必要だ</u>と思います。</p>
10	<p>私が抱えている不安や困りごとは、自分のことを理解してくれる人を見つけづらいことです。お互いに誤解されたくないし、したくないからだと思います。  <u>社会に求めることは、人それぞれ違いはあっても「共生できる関係をもちたい」、「多様性を尊重したい」ということ、</u>            また、日常でも“自分のこと”を伝えたり、聞いたりして言葉にする時間を取りたいということです。</p>
11	<p>このイベントを通して社会人の方にたくさん話を聞く中で、若者の意見を必要としていることが分かり、もっと知ってほしいと思いました。  <u>新しい芽をつぶすことなく、若者をしっかりと育てる風土、環境が必要だ</u>と思います。新しい芽をつぶすのではなく、しっかりと育ててほしいと思います。  <u>また、皆が平等、対等で、偏見を持たない社会であること</u>を願います。</p>

## 1. 提言一覧

番号	提言内容
12	私は、自分の不安や困りごとを聞いてくれる人がいることで、不安や困りごとが減っていくのではないかと思います。また、自分が必要とされないときに不安になると思います。 <u>他の人たちと信頼しあえる社会になれば、解決する問題や困りごとも多いのではないかと思います。</u>
<b>&lt;若者への指導&gt;</b>	
13	このイベントを通して社会人の方にたくさん話を聞く中で、若者の意見を必要としていることが分かり、もっと知ってほしいと思いました。 <u>新しい芽をつぶすことなく、若者をしっかりと育てる風土、環境が必要だと思います。新しい芽をつぶすのではなく、しっかりと育ててほしいと思います。</u>

## 2. 市長の総評、感想

このイベントを通して、参加者の皆さんには、異世代の人たちや自分たちとは違う環境で生活する人たちと同じ場で対話をするという貴重な経験をしていただきました。自分の思いを発信すること、人の話をよく聞いてしっかり受け止め自分の意見を伝えること、相手に理解してもらうことの大切さを知ったと思います。また、多くの人と接し対話を進める中で、大きな取り組みになっていくことを感じてもらったと思います。こうした、学校生活では得難い貴重な経験ができるこういった場があることを周りの人たちにも伝えてほしいと思っております。

今回の取組みのように、若い人たちが積極的に参画して、意見を言ってくれることはありがたいことですし、鹿児島市の未来にもつながるものです。

現在、鹿児島市では、地域のコミュニティを大切にし、愛着を持つ、地域それぞれで知恵を出し合い、まちをつかっていこうと取り組んでいます。その中では、地域の皆さんにそれぞれどういった役割があるのか、地域にどういった取り組みが必要か自覚していただくのはもちろんのこと、コミュニティを大切にし、相手の意見、自分自身の意見を大切にしながら協調して、一つの方向を導き出していくことが大切です。

皆さんには、将来そういった場や取り組みへ積極的に参加していただきたいと思います。

また、私は、若い世代の市民参画は本市のまちづくりにとってますます重要になってくると考えておりますので、今後もこのような事業を続けていきたいと思っております。